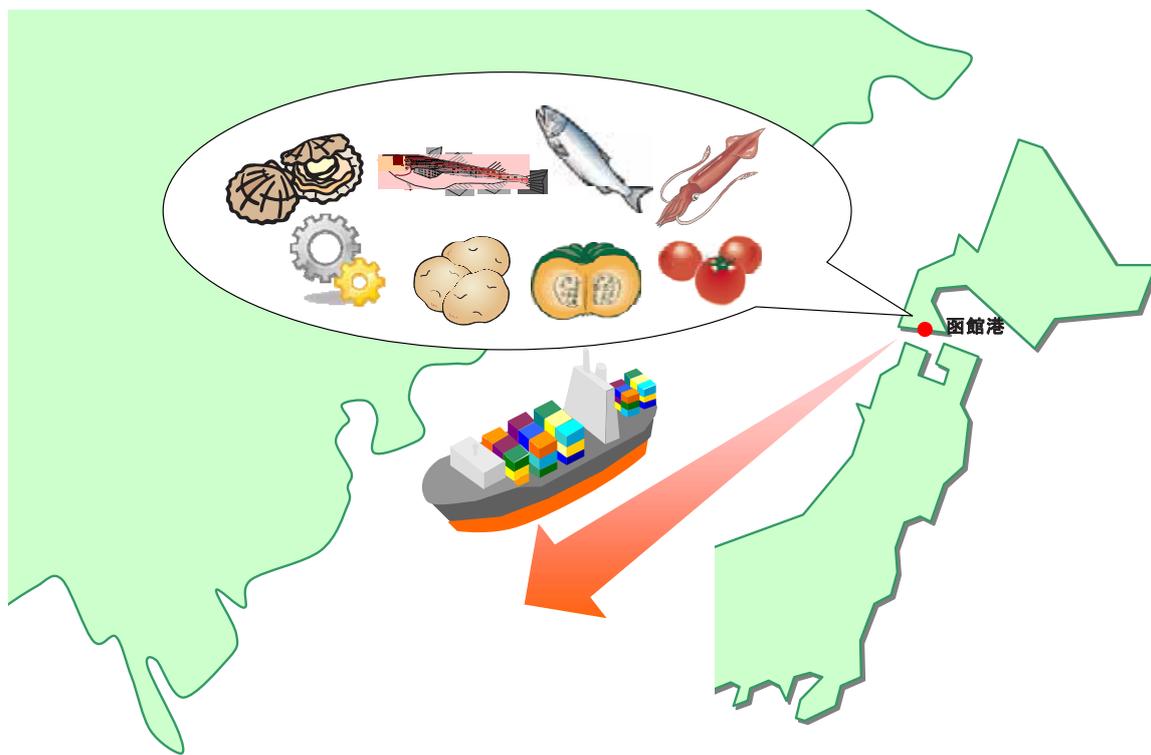


# 函館港定期コンテナ航路 利用ガイドブック

～函館港から世界に広げよう 函館産品～



北海道開発局函館開発建設部  
函館市港湾空港部  
株式会社函館国際貿易センター

## はじめに

函館地域では、水産業、水産加工業、農業、食料品製造業、木材加工業、機械製造業など、活発な産業活動が営まれ、地域を代表する様々な生産物や製品が生産されています。こうした地域産品を国内だけにとどまらず、海外市場にも積極的に販路を広げてみませんか。

貿易は難しいものではありません。函館では貿易促進に対する行政支援があり、貿易に取り組みやすい環境が作られています。

輸送手段としても平成17年5月から定期コンテナ航路が開設され、“地元のみなど”函館港から直接輸出入することが可能です。

このガイドブックは、貿易の魅力やメリットを感じてもらい、さらなる地域活性化を目指して作成したものです。是非、お役立てください。

平成20年3月  
北海道開発局函館開発建設部  
函館市港湾空港部  
株式会社函館国際貿易センター

# 目 次

<b>1. 貿易の状況</b>	
1-1 日本の貿易の状況 .....	1
1-2 北海道の貿易の状況 .....	3
1-3 函館港の貿易の状況 .....	5
1-4 北海道の国際海上コンテナ輸送の状況 .....	7
<b>2. 貿易（輸出）の成功事例</b>	
2-1 貿易（輸出）のパターン .....	9
2-2 成功事例 .....	11
<b>3. 貿易の手順</b>	
3-1 一般的な貿易の流れ .....	13
3-2 函館における貿易サポート .....	14
<b>4. 函館コンテナ航路の優位性</b> .....	15
<b>5. 貿易促進による地域活性化への波及効果</b> .....	17
<b>参考. 関係機関連絡先</b> .....	18

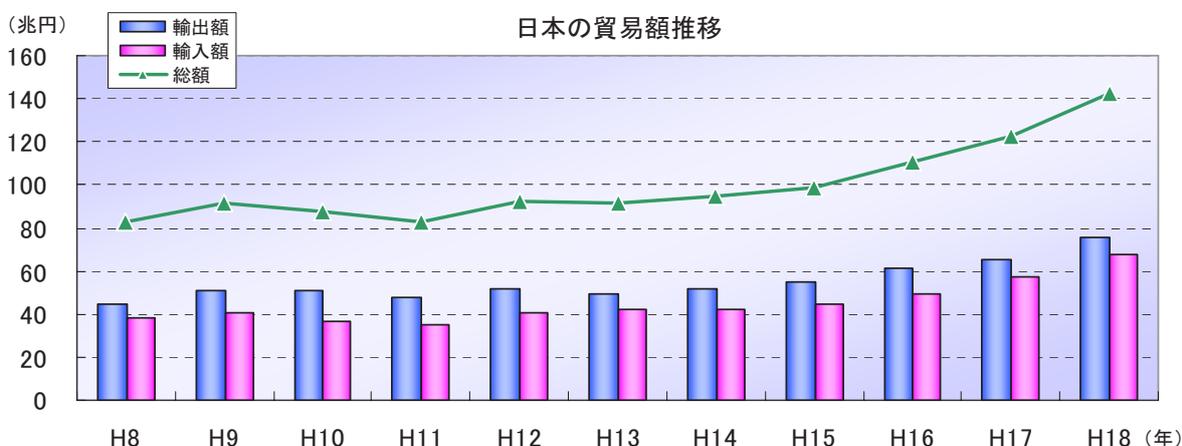
# 1. 貿易の状況

## 1-1 日本の貿易の状況

我が国の貿易額は年々増加傾向にあり、平成18年には142兆5千億円(輸出75兆2千億円、輸入67兆3千億円)となっています。

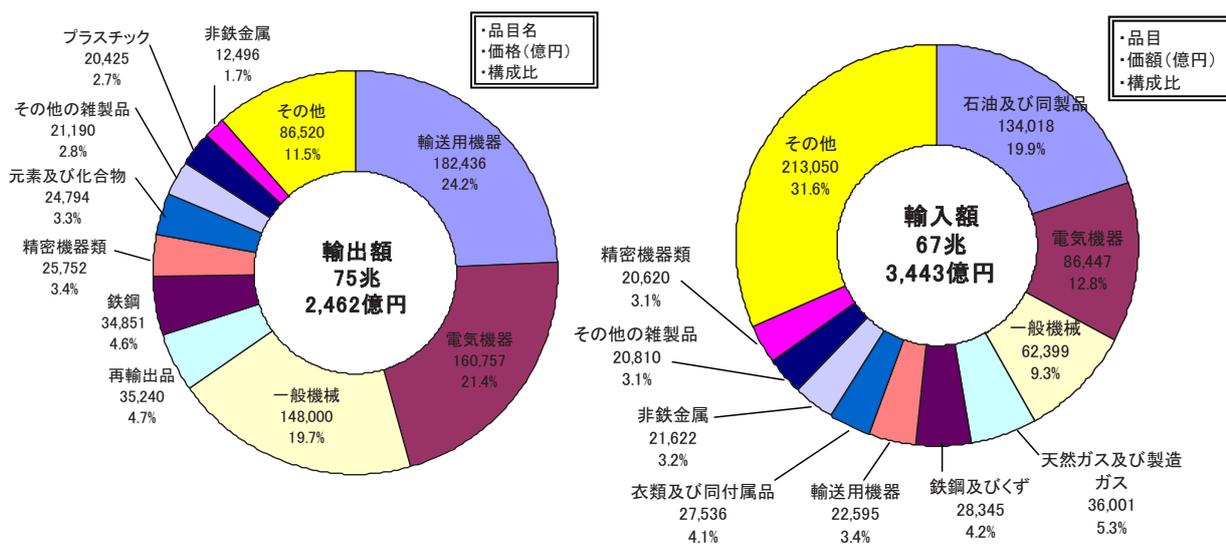
貿易品目をみると、輸出では機械類(輸送用機器、電気機器、一般機械)、輸入では石油類や機械類(電気機器、一般機械)が多くなっています。また、貿易相手国は、輸出ではアメリカ、中国、韓国、輸入では中国、アメリカ、サウジアラビアがそれぞれ上位3ヶ国となっています。

### ■輸出入額の推移



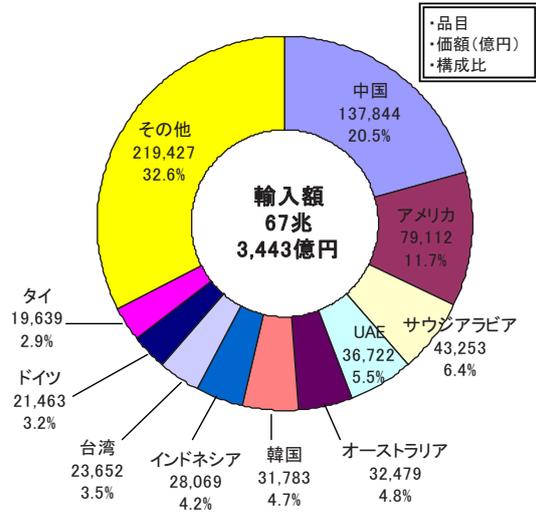
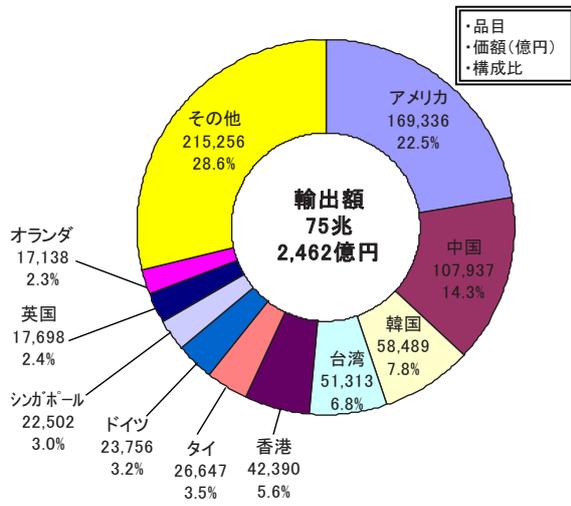
資料)「貿易統計」(財務省)より作成

### ■輸出入品目 (平成18年)



資料)「貿易統計」(財務省)より作成

■主要輸出入国（平成 18 年）



資料)「貿易統計」(財務省)より作成

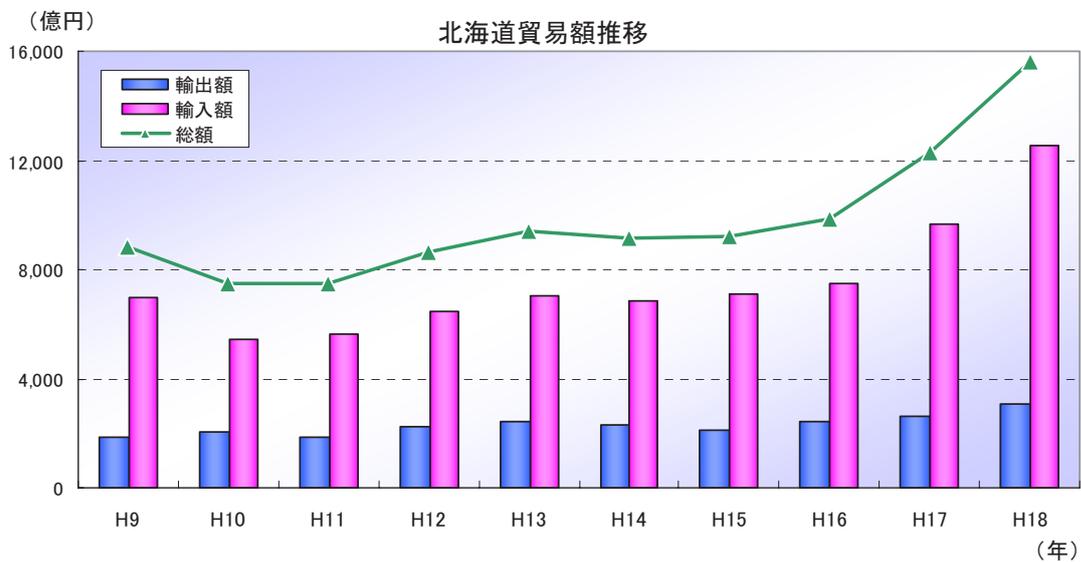
## 1-2 北海道の貿易の状況

北海道の貿易額も年々増加傾向にあり、平成18年には1兆6千億円（輸出3千億円、輸入1兆3千億円）となっています。北海道の貿易は輸入に比べて輸出が少ない特徴があります。

貿易品目をみると、一般機械、鉄鋼、原油類のほか魚介類・同調整品があります。これは北海道では水産業や水産加工業が盛んであることの現れです。

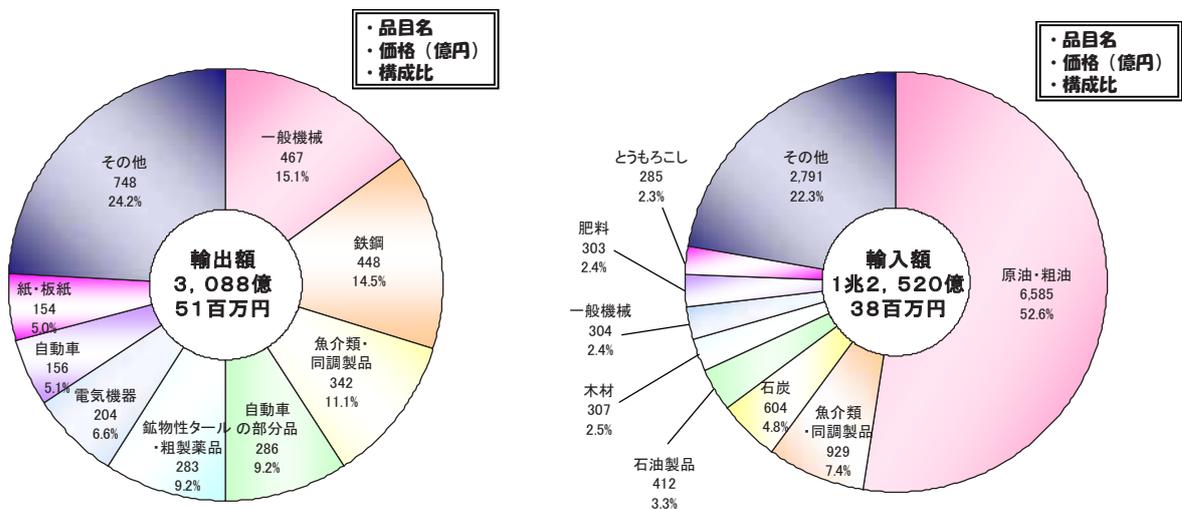
貿易相手国は、輸出ではアメリカを凌いで中国、韓国への輸出が多くなっています。輸入では、UAE（アラブ首長国連邦）、サウジアラビアといった産油国のほか、アメリカ、中国からの輸入が多くなっています。

### ■輸出入額の推移



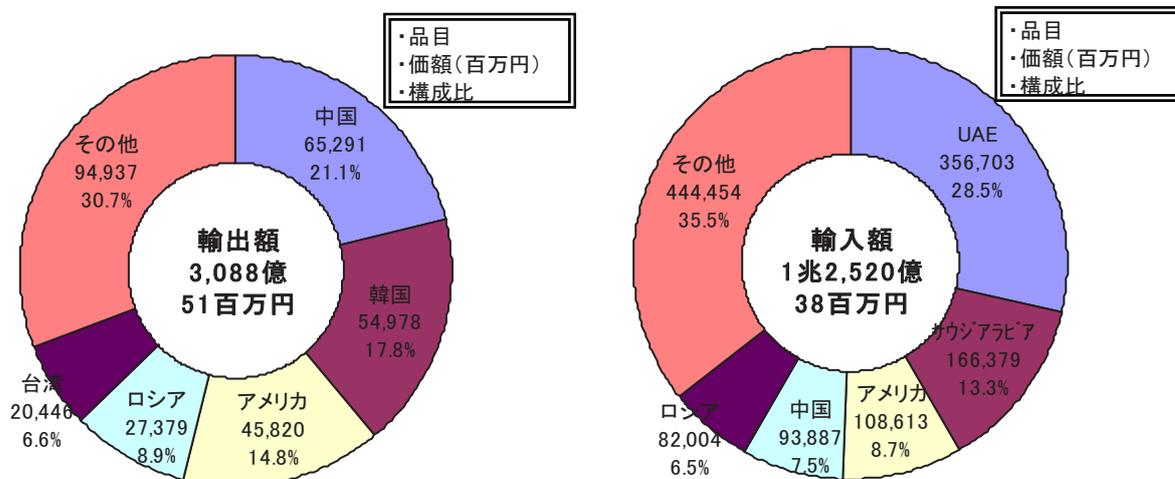
資料)「平成18年 北海道貿易概況」(函館税関)

### ■輸出入品目 (平成18年)



資料)「平成18年 北海道貿易概況」(函館税関)

■主要輸出入国（平成 18 年）



資料)「平成 18 年 北海道貿易統計」(北海道経済部商業経済交流課)より作成

■国別品目（平成 18 年）

<輸出>

国名	順位	品目	価額(百万円)	シェア
中国	1	魚介類	22,526	34.5%
	2	機械類	11,204	17.2%
	3	石油製品	8,885	13.6%
	4	鉄鋼製品	6,503	10.0%
	5	電気機器・部品	4,951	7.6%
		その他	11,224	17.2%
	総計		65,291	100.0%
韓国	1	石油製品	24,548	44.7%
	2	鉄鋼くず・鉄鋼製品	18,063	32.9%
	3	有機化学品(ベンゼン等)	4,139	7.5%
	4	魚介類	1,491	2.7%
	5	機械類	1,440	2.6%
		その他	5,298	9.6%
	総計		54,978	100.0%
アメリカ	1	自動車部品	24,125	52.7%
	2	機械類	6,971	15.2%
	3	鉄鋼製品	4,464	9.7%
	4	魚介類	4,087	8.9%
	5	非金属性の工具	1,194	2.6%
		その他	4,978	10.9%
	総計		45,820	100.0%
ロシア	1	自動車(中古含む)	14,686	53.6%
	2	機械類	2,535	9.3%
	3	船舶	2,487	9.1%
	4	再輸出品	2,203	8.0%
	5	セメント製品・コンクリート製品	920	3.4%
		その他	4,549	16.6%
	総計		27,379	100.0%
台湾	1	鉄鋼製品	5,934	29.0%
	2	石油製品	4,971	24.3%
	3	電気機器・部品	4,550	22.3%
	4	紙	2,299	11.2%
	5	機械類	636	3.1%
		その他	2,055	10.1%
	総計		20,446	100.0%

<輸入>

国名	順位	品目	価額(百万円)	シェア
UAE	1	原油	356,478	99.9%
	2	アルミニウム合金	187	0.1%
	3	馬	24	0.0%
	4	鉄鋼くず	9	0.0%
	5	鉱水及び炭酸水	3	0.0%
		その他	1	0.0%
	総計		356,703	100.0%
サウジアラビア	1	原油	166,365	100.0%
	2	プラスチック及びその製品	14	0.0%
	3	—	—	—
	4	—	—	—
	5	—	—	—
		その他	—	—
	総計		166,379	100.0%
アメリカ	1	穀物(とうもろこし等)	34,935	32.2%
	2	肥料	22,023	20.3%
	3	魚介類	10,949	10.1%
	4	木材・木製品	6,841	6.3%
	5	馬	6,548	6.0%
		その他	27,318	25.2%
	総計		108,613	100.0%
中国	1	石炭・灯油等	16,170	17.2%
	2	木材・木製品	7,702	8.2%
	3	アルミニウム合金	6,212	6.6%
	4	魚介類調整品	5,189	5.5%
	5	家具等の雑貨	4,663	5.0%
		その他	53,950	57.5%
	総計		93,887	100.0%
ロシア	1	魚介類	59,336	72.4%
	2	アルミニウム合金	5,859	7.1%
	3	石炭	5,233	6.4%
	4	木材・木製品	4,846	5.9%
	5	鉄鋼	3,310	4.0%
		その他	3,420	4.2%
	総計		82,004	100.0%

資料)「平成 18 年 北海道貿易統計」(北海道経済部商業経済交流課)より作成

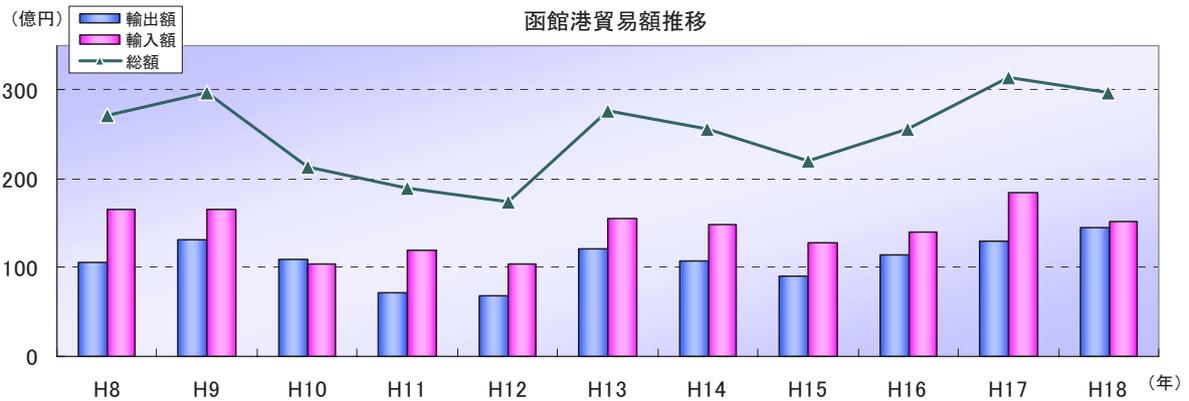
### 1-3 函館港の貿易の状況

函館港の貿易額は、平成18年で297億円（輸出144億円、輸入153億円）となっています。増減の変動はみられるものの平成15年以降は概ね増加傾向にあります。

貿易品目は、輸出では船舶が大半を占め、輸入では魚介類・同調整品、石炭、小麦などとなっており、地域の産業と密着した品目が輸出入されています。

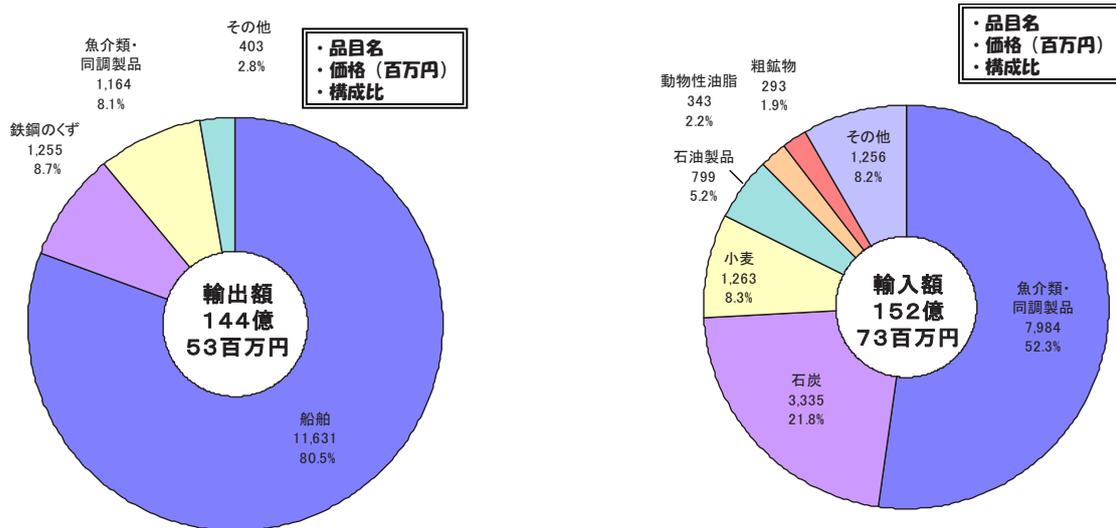
貿易相手国は、輸出ではパナマ、香港、中国、輸入では中国、ロシア、アメリカがそれぞれ上位3ヶ国となっています。

#### ■輸出入額の推移



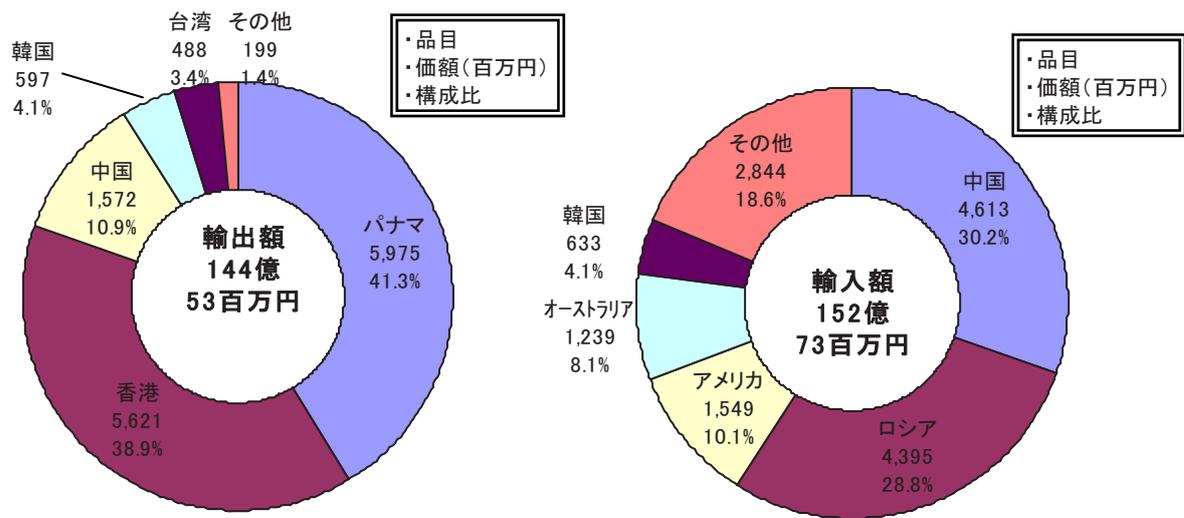
資料)「平成18年 函館港貿易概況」(函館税関)

#### ■輸出入品目 (平成18年)



資料)「平成18年 函館港貿易概況」(函館税関)

■主要輸出入国（平成 18 年）



資料)「平成 18 年 北海道貿易統計」(北海道経済部商業経済交流課)より作成

■主要国別品目（平成 18 年）

<輸出>

国名	順位	品目	価額(百万円)	シェア
パナマ	1	船舶	5,975	100.0%
	2	-	-	-
	3	-	-	-
	4	-	-	-
	5	-	-	-
		その他	-	-
	総計	5,975	100.0%	
香港	1	船舶	5,621	100.0%
	2	-	-	-
	3	-	-	-
	4	-	-	-
	5	-	-	-
		その他	-	-
	総計	5,621	100.0%	
中国	1	魚介類	1,010	64.3%
	2	鉄鋼くず	344	21.9%
	3	船舶	163	10.4%
	4	木材	32	2.0%
	5	機械類	13	0.9%
		その他	10	0.6%
	総計	1,572	100.0%	
韓国	1	鉄鋼くず	424	70.9%
	2	魚介類	118	19.8%
	3	漁網	48	8.0%
	4	中古タイヤ	4	0.7%
	5	貝殻	2	0.3%
		その他	1	0.2%
	総計	597	100.0%	
台湾	1	鉄鋼くず	488	99.9%
	2	再輸出品	0	0.1%
	3	-	-	-
	4	-	-	-
	5	-	-	-
		その他	-	-
	総計	488	100.0%	

<輸入>

国名	順位	品目	価額(百万円)	シェア
中国	1	魚介類調整品	1,577	34.2%
	2	魚介類	1,404	30.4%
	3	石炭	1,085	23.5%
	4	鉄鋼製品	192	4.2%
	5	海水等	114	2.5%
		その他	240	5.2%
	総計	4,613	100.0%	
ロシア	1	魚介類	3,127	71.2%
	2	石炭	1,016	23.1%
	3	塩化カリウム	155	3.5%
	4	木材・木製品	95	2.2%
	5	ひも、綱及びケーブル	1	0.0%
		その他	0	0.0%
	総計	4,395	100.0%	
アメリカ	1	穀物(メリスン)	972	62.7%
	2	石油コークス	351	22.7%
	3	魚介類	143	9.2%
	4	魚の油脂	79	5.1%
	5	航空機の部品	3	0.2%
		その他	0	0.0%
	総計	1,549	100.0%	
オーストラリア	1	石炭	1,239	100.0%
	2	-	-	-
	3	-	-	-
	4	-	-	-
	5	-	-	-
		その他	-	-
	総計	1,239	100.0%	
韓国	1	灯油	398	62.9%
	2	いか調整品	67	10.6%
	3	銲物性ウール	41	6.4%
	4	いか(冷凍)	34	5.3%
	5	鉄鋼製品	19	2.9%
		その他	75	11.8%
	総計	633	100.0%	

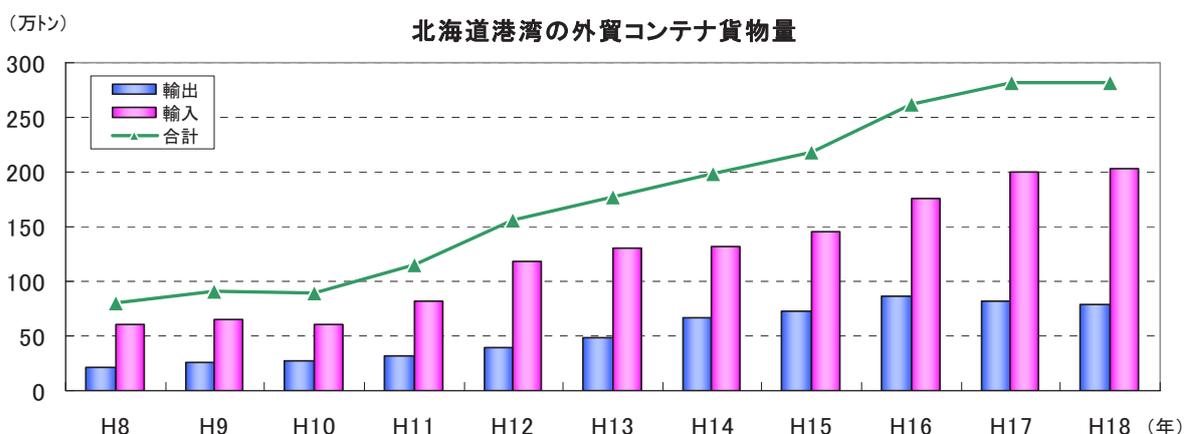
資料)「平成 18 年 北海道貿易統計」(北海道経済部商業経済交流課)より作成

## 1-4 北海道の国際海上コンテナ輸送の状況

近年の国際海上輸送ではコンテナ輸送が進展しており、北海道でも5港で定期コンテナ航路が開設されています。北海道港湾で取り扱う外貿コンテナ貨物量は、平成18年には283万トン（輸出79万トン、輸入204万トン）となっており、年々増加していますが、輸入に比べて輸出が少ないといった特徴がみられます。

港湾別の取扱量をみると、苫小牧港が輸出・輸入それぞれで80%を超えるシェアを占めています。函館港は平成17年にコンテナ航路が開設しましたが、まだまだ取扱量が少ない状況にあります。

### ■取扱貨物量の推移

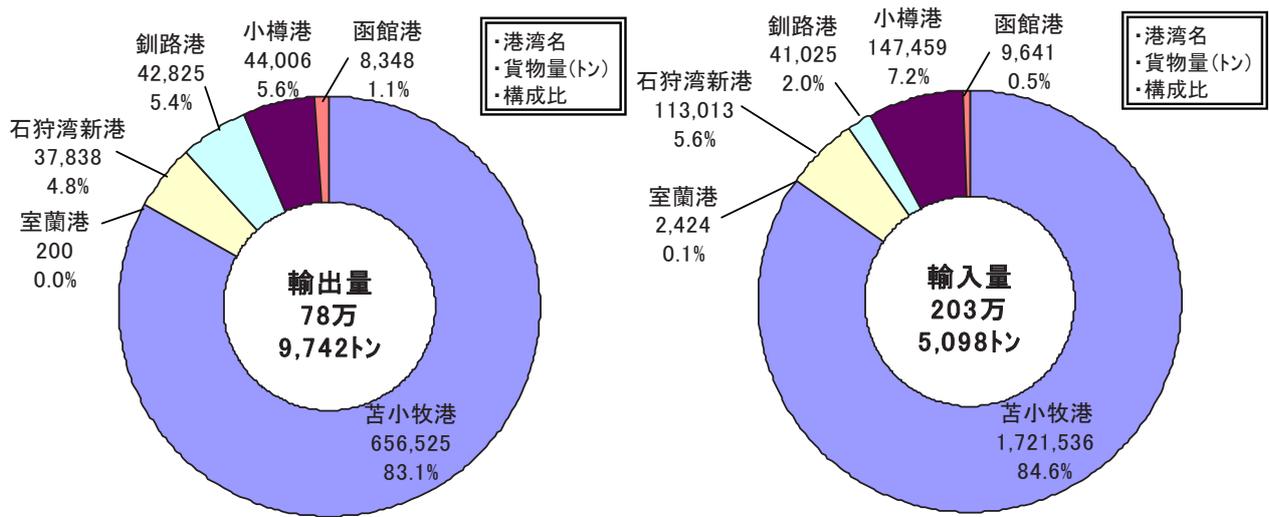


資料)「北海道港湾統計」(北海道開発局港湾空港部)より作成

### ■北海道のコンテナ港湾



■港湾別取扱シェア（平成 18 年）



資料)「北海道港湾統計」(北海道開発局港湾空港部)

■輸出入品目（平成 18 年）

<輸出>

港湾名	順位	品目	貨物量(トン)	シェア
苫小牧	1	紙・パルプ	322,087	49.1%
	2	水産品	110,000	16.8%
	3	自動車部品	50,727	7.7%
	4	鋼材	32,495	4.9%
	5	ゴム製品	20,258	3.1%
			その他	120,958
	総計		656,525	100.0%
石狩湾新	1	水産品	12,731	33.6%
	2	自動車部品	5,892	15.6%
	3	再利用資材	5,702	15.1%
	4	紙・パルプ	4,143	10.9%
	5	産業機械	3,221	8.5%
		その他	6,149	16.3%
	総計		37,838	100.0%
釧路	1	輸送用容器	24,460	57.1%
	2	紙・パルプ	10,725	25.0%
	3	水産品	5,965	13.9%
	4	化学薬品	1,095	2.6%
	5	ゴム製品	285	0.7%
		その他	295	0.7%
	総計		42,825	100.0%
小樽	1	水産品	32,848	74.6%
	2	再利用資材	2,223	5.1%
	3	金属製品	2,142	4.9%
	4	自動車部品	1,871	4.3%
	5	輸送用容器	1,127	2.6%
		その他	3,795	8.6%
	総計		44,006	100.0%
函館	1	水産品	8,178	98.0%
	2	ゴム製品	87	1.0%
	3	その他製造工業品	62	0.7%
	4	再利用資材	19	0.2%
	5	産業機械	2	0.0%
		その他	-	0.0%
	総計		8,348	100.0%

<輸入>

港湾名	順位	品目	貨物量(トン)	シェア
苫小牧	1	動植物性製造飼肥料	241,129	14.0%
	2	製材	234,365	13.6%
	3	木製品	123,164	7.2%
	4	衣服・見廻品・履物	95,697	5.6%
	5	化学肥料	91,729	5.3%
			その他	935,452
	総計		1,721,536	100.0%
石狩湾新	1	家具装備品	13,730	12.1%
	2	その他輸送機械	12,811	11.3%
	3	水産品	11,924	10.6%
	4	製造食品	9,212	8.2%
	5	木製品	7,893	7.0%
		その他	57,443	50.8%
	総計		113,013	100.0%
釧路	1	動植物性製造飼肥料	11,275	27.5%
	2	輸送用容器	7,925	19.3%
	3	化学肥料	4,220	10.3%
	4	水産品	2,775	6.8%
	5	木製品	2,670	6.5%
		その他	12,160	29.6%
	総計		41,025	100.0%
小樽	1	衣服・見廻品・履物	28,309	19.2%
	2	家具装備品	20,197	13.7%
	3	その他日用品	15,449	10.5%
	4	石材	14,373	9.7%
	5	木製品	13,763	9.3%
		その他	55,368	37.5%
	総計		147,459	100.0%
函館	1	水産品	2,173	22.5%
	2	化学肥料	1,819	18.9%
	3	原木	1,539	16.0%
	4	窯業品	1,064	11.0%
	5	その他輸送機械	602	6.2%
		その他	2,444	25.4%
	総計		9,641	100.0%

資料)「北海道港湾統計」(北海道開発局港湾空港部)より作成

## 2. 貿易（輸出）の成功事例

### 2-1 貿易（輸出）のパターン

輸出は新たな販路を国内市場にとどまらず海外市場に拡大する取り組みです。

ここでは、過去の事例からどのような考え方で輸出しているか、その輸出パターンを以下のように整理しました。

#### ①在留邦人を主要な販売ターゲットとする

##### <輸出の考え方>

- ・海外に移住、長期滞在している日本人向けに日本産品を供給する。
- ・在留邦人にとっては、ニーズに合った商品を手に入れない場合や、入手できても生産国が違うことで違和感を覚えることがある。
- ・特に日本人の場合は、安全性や品質の面から自国の生産物に対する要望が強い。
- ・実際にアジア諸国では日本食材専門店やスーパー・デパートなどでの日本食材コーナーの人気が高い。
- ・価格面では現地で流通している商品よりも高額になることが認識されており、ある程度の価格差は許容される可能性がある。
- ・在留邦人の消費行動が現地の人達の消費に繋がる可能性もあり、商品PRの役割も果たすことになる。

#### ②相手国での供給不足や嗜好性に着目する

##### <輸出の考え方>

- ・相手国で生産されていない、生産量が少ない、時期的に品枯れになるなど、供給力が需要に対して小さい商品を補う形で輸出する。
- ・また、日本では需要の少ないサイズ、あるいは取引価格の低い商品であっても、相手国での嗜好性や需要に合致し、供給を望まれる場合がある。
- ・相手国での供給力を補うものであることから、販売ターゲットは相手国の全消費者となる。
- ・基本的には相手国産品と同等の価格帯での供給が必要と考えられる。

#### ③品質の高さ、安心・安全などをセールスポイントとする

##### <輸出の考え方>

- ・相手国で流通している商品よりも、「食味が良い」、「品質が高い」、「安心・安全である」といった点をセールスポイントとするもので、高級品として受け入れられる可能性がある。
- ・日本産品が高品質であることへの認知度は高く、特に北海道は知名度が高いことを、販売戦略として大いに活用する。
- ・アジア諸国（特に中国）では経済成長を背景とした富裕者層が増加しており、マーケットとして有望である。

- ・販売ターゲットを富裕者層とすることで、価格面では一般商品より高額でも受け入れられる可能性がある。

#### ④特化した機能をセールスポイントとする

##### <輸出の考え方>

- ・「健康に良い」、「美容に良い」など特化した機能をセールスポイントとするもので、上記③以上に付加価値性が高く、高級品として受け入れられる可能性がある。
- ・上記③と同様に販売ターゲットとして富裕者層をねらうが、特化した機能をアピールすることで価格面では③以上に高額でも受け入れられる可能性がある。

## 2-2 成功事例

北海道をはじめとして全国各地で地域産品を輸出する取り組みが行われています。

海外市場に如何に地域産品を売り込むか、さまざまな戦略、工夫を凝らし、輸出を成功させている事例の一部を以下に示します。

### ■「長いも」を台湾、シンガポールへ（北海道 JA 帯広かわにし）

#### <概要>

- ・国内最大規模の生産量を誇り、通年販売する産地ブランド。
- ・台湾での、健康志向の高まり、高品質品のニーズに乗って、日本では需要の少ない大型の長いもを輸出。
- ・輸出量は年々増大。  
(平成 17 年産 輸出生産数量 1,285 トン 生産全体に占める輸出比率 約 6.7% (数量ベース))

#### <販売戦略、工夫した点等>

- ・国内市場から仕入れて輸出する業者との差別化のため、輸出専用段ボールを使用。
- ・固定化した供給ルートから太物を安定供給することで信頼性を構築。
- ・大型冷蔵施設を活用。ロボットの導入により流通コストを大幅削減。
- ・地域 7 農協で連携して産地を形成し、年間供給体制を構築。

#### <輸出によるプラスの効果等>

- ・国内での太物販売は業務用かスーパーでのカット売りが中心で安値傾向だったが、輸出により太物の大口需要先を確保したことで、太物の評価が上昇した。
- ・販売の安定化で、作付面積・生産量ともに増加。(H8 年 331ha → H17 年 453ha)
- ・輸出実績が評価され、マスコミ等で取り上げられることにより、産地の知名度がアップ。

### ■「スケトウダラ（鮮魚）」を韓国へ（北海道 ひやま漁業協同組合）

#### <概要>

- ・日本では取引価格の低いオスのスケトウダラが、韓国では高級な魚として需要があることに注目。
- ・漁から出荷までの品質管理を徹底し、韓国でも好評。  
(輸出生産数量 H18 年 1,670 トン 生産量全体に占める輸出比率 約 32%)

#### <販売戦略、工夫した点等>

- ・延縄漁により従来から鮮度が良いと評判だったが、地元熊石で取水される海洋深層水での処理により鮮度の持続期間が伸び、さらに評判がアップ。

#### <輸出によるプラスの効果等>

- ・これまで収入にあまり貢献できなかったスケトウダラのオスの販路開拓により、経営基盤の安定化に貢献。

### ■「LL 牛乳」を香港へ（北海道 くみあい乳業株式会社）

#### <概要>

- ・中国の牛乳に比べて食味、品質が良いことがアピールポイント。
- ・香港の商社を通じてスーパーで販売しており、現地では高価であるものの好評を得ている。  
(平成 18 年度 (5 月～12 月) 輸出生産数量 72 トン)

#### <販売戦略、工夫した点等>

- ・中国では、経済成長や食文化の欧米化により、牛乳の需要が拡大。日本とは異なり、牛乳の低温流通が発達していないため、LL 牛乳（常温保存可能牛乳）に対する抵抗が少なく、品質の良い北海

道産ブランドが好評。

- ・北海道のブランドイメージ確立（差別化）のため、国内パッケージをそのまま使用。
- ・牛乳供給過剰の中、海外向けに、引き取り価格の高い飲用向けのシェア増大を期待。今後3年間で、中国本土も含めて1,200トン程度まで輸出量を拡大することが目標。

#### ■「りんご」を中国等へ（青森県 片山りんご株式会社）

##### <概要>

- ・家族的集約栽培により時間と手間を掛けたりんご。
- ・1999年に小玉「玉林」を英国へ。現在、日本では需要のない大玉「むつ」を中国へ、中玉を国内に出荷。小玉は新たなEU市場を開拓中。

##### <販売戦略、工夫した点等>

- ・安定した固定客をつかむため、北京市と大連市で宅配を実施。
- ・EUへの輸出にあたり、バイヤーから取得を求められ、農業生産を適切に実施するためのEUの民間認証であるEUREPGAPを国内で初めて取得。

##### <輸出によるプラスの効果等>

- ・他の生産者等と「青森県農林水産物輸出協議会」へ参加。県内関係者と一体となりヨーロッパ向け市場開拓に取り組んでおり、県内の輸出に向けた取組みの意識が高まった。
- ・EUREPGAP取得経験を生かし、全国各地のセミナー等で講演を行う等により、日本におけるGAPの普及に寄与。

#### ■「レタス等」を台湾へ（長野県 南佐久群川上村）

##### <概要>

- ・川上村は夏秋レタスの生産量日本一。頭打ちである国内への販売を打開するため、平成18年7月から、レタスを中心に台湾への輸出を開始。
- ・台湾で出回る米国産の硬いものと比較して、八分結球で柔らかく甘みのある、川上産レタスの特徴を、現地の百貨店の物産展でアピール。

（平成18年輸出量 結球レタス75トン、グリーンボール4トン、長いも2トン）

##### <販売戦略、工夫した点等>

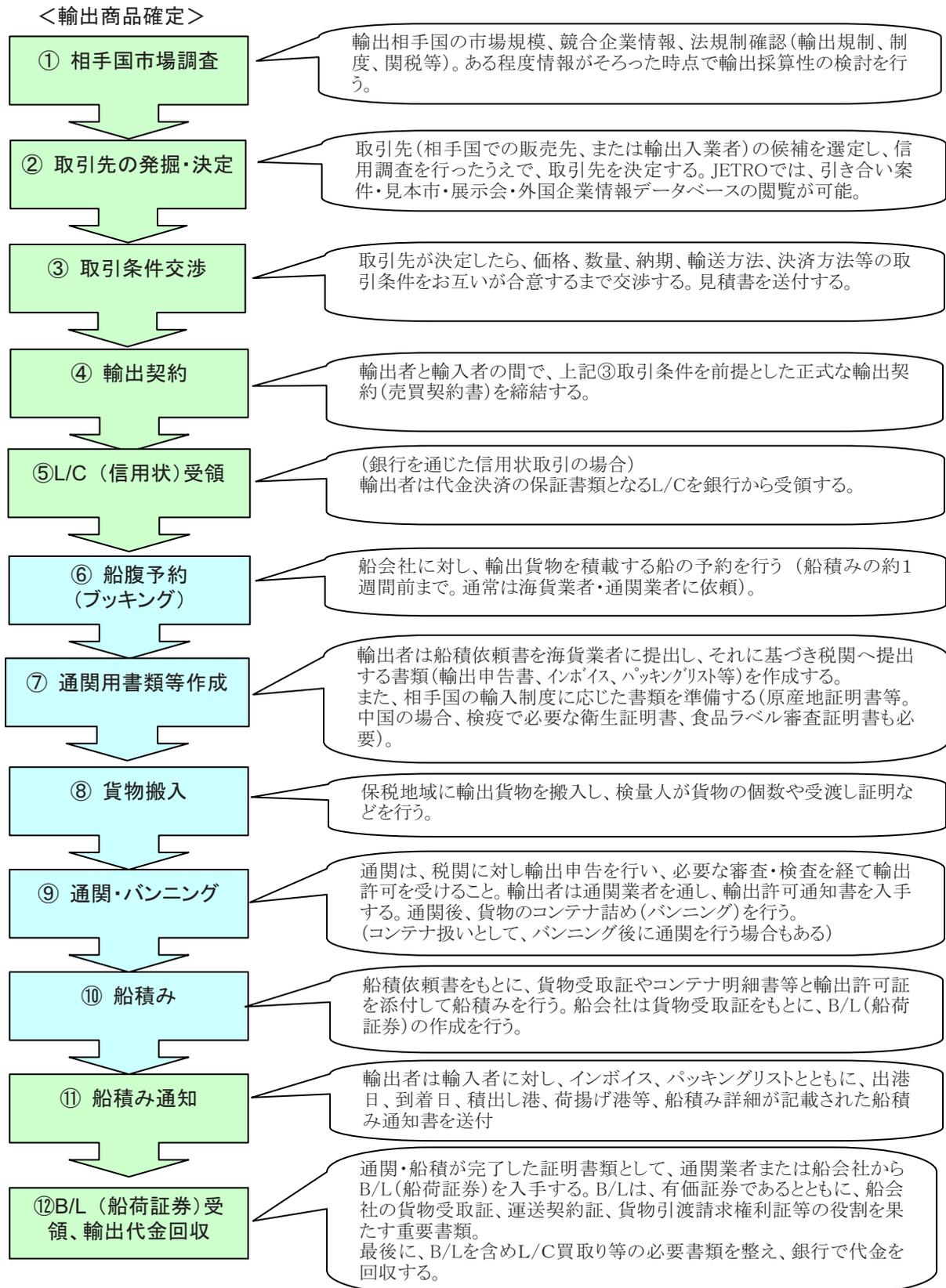
- ・輸出開始にあたり、テスト輸出を行い着荷の状態とニーズ等を確認。
- ・レタス料理や村の紹介を記載した現地語のパンフレットやポスターを作成し、現地のスーパー等に配布してPR。また、村独自で物産展を開催。
- ・川上村のオリジナルのラップを作成し、台湾で「川上ブランド」を推進。
- ・客が購入時にレタスに触ることによる傷みを軽減するため、米国産で既に行われていた1玉ごとのラップ包装を実施。
- ・生産者と消費者の距離を縮めるため、商社や市場を経由せず、現地のスーパー等との直接契約するルートを確立。

資料)「農林水産物の輸出取組事例」(農林水産省、平成19年5月)

### 3. 貿易の手順

#### 3-1 一般的な貿易の流れ

輸出は外国に商品を売る商取引であるとともに、国外に貨物を輸送することから様々な手続きが必要になります。ここでは、輸出に関わる大まかな流れを以下に示します。



資料) 貿易サポートハンドブック 2004 (山形県)、ジェトロ HP、貿易実務入門講座 (北海道経済国際化推進会議) など

### 3-2 函館における貿易サポート

実際に輸出を行うにあたっては、「取引先をどう探すか?」、「相手国消費者のニーズは?」、「商品をアピールするには?」、「どんな輸送方法が適切か?」、「必要な手続きや相手国の貿易制度は?」、「貿易書類の作成は難しい?」などの不安や課題があるかもしれません。

函館市港湾空港部や株式会社函館国際貿易センターでは、函館港の定期コンテナ航路を利用して貿易を行う際の不安や課題を解決する糸口として、以下のような貿易サポートを行っています。

#### ◆貿易相談

- ・各種貿易・物流費用も含めた物流情報の提供、貿易に関する相談、見本市への出展相談等を行っています。

#### ◆貿易促進支援

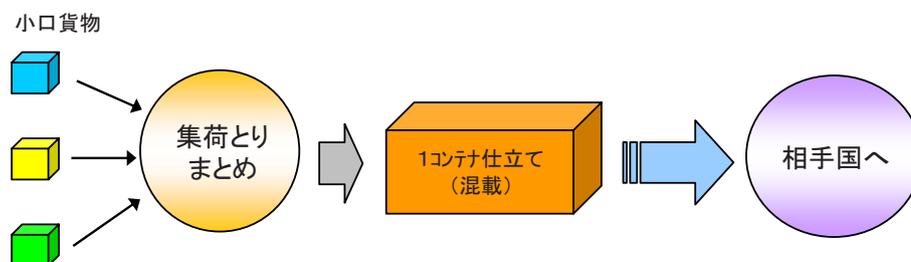
- ・各種商品の取引・仲介サービス、ビジネス交流会の企画・開催等を行っています。

#### ◆貿易書類作成アドバイス

- ・貿易に必要なインボイス、パッキングリスト等の書類作成にあたり、実務経験を基にした的確なアドバイスを行っています。

#### ◆小口貨物混載サービス（検討中）

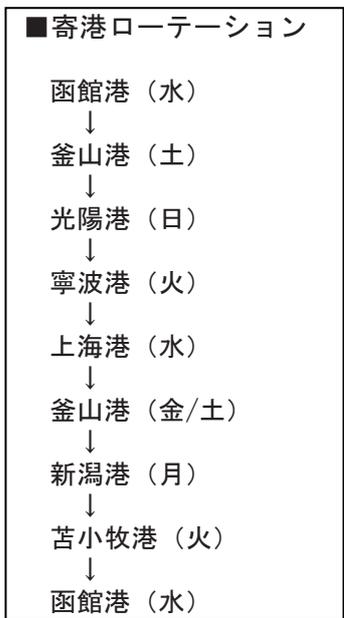
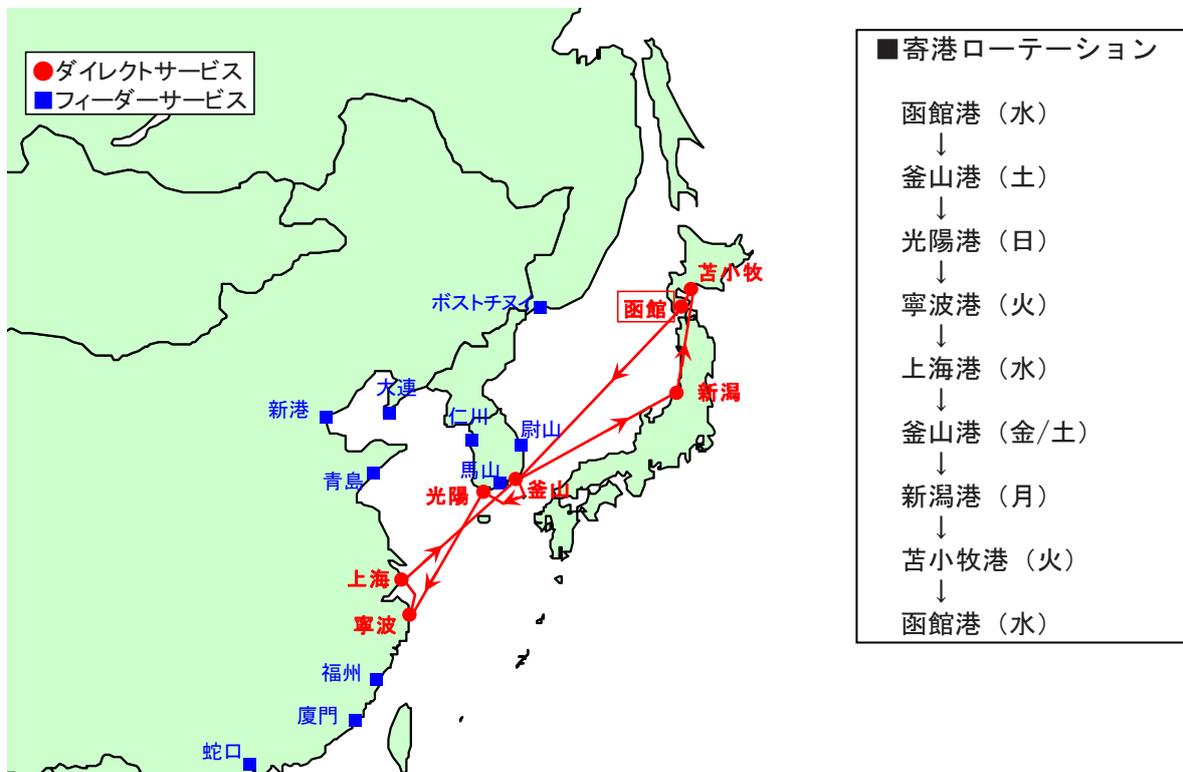
- ・1コンテナに満たない小口貨物を混載して輸出するサービスを検討しています。
- ・ご要望のある方はご相談ください。



小口貨物混載サービスのイメージ図

## 4. 函館コンテナ航路の優位性

函館港のコンテナ航路は、平成 17 年 5 月に韓国・中国を結ぶ定期航路として開設されました。函館港は国内港湾のラストポートとして輸出に適した寄港地設定となっています。また、釜山港でのトランシップ（積み替え）により、韓国、中国、極東ロシア、ベトナムの各港湾にも接続しています。



<函館港を基点とした輸送日数>

寄港地	輸出口数（入港日）	輸入口数（出港日）
○ダイレクトサービス		
函館	—（水）	—（水）
釜山	3（土）	4（土）
光陽	4（日）	10（日）
寧波	6（火）	8（火）
上海	7（水）	7（水）
○南星海運（株）接続サービス（釜山トランシップ）		
ポストチヌイ	7（水）	13（木）
蔚山	7（水）、10（土）	11（金）、14（水）
馬山	10（土）	7（月）
仁川（ソウル）	15（木）	13（木）
天津新港	5（月）、10（土）、12（月）	8（火）、9（月）、11（土）、14（水）
大連	7（水）、11（日）、13（火）	10（日）、13（木）、14（水）
青島	12（月）	9（月）、13（木）
福州	16（金）	20（金）
廈門	16（金）	16（月）
香港	12（月）、14（水）	8（火）、21（水）
蛇口	18（日）	17（日）
ハイフォン	16（金）	19（金）

※輸送日数は、気象・海象やトランシップの状況により変動する場合があります

### ■運航船舶

BONNY STAR(342TEU)



HAPPY STAR(342TEU)



## <函館港の4つのセールスポイント>

### ■立地条件

函館港は、北海道の南西部に位置し、輸出の際、韓国・中国への航海日数は短くなっています。また、輸入は、国内寄港地の順番によって同一航路では苫小牧港より1日遅くなっていますが、通関や陸送時間を含めれば函館港背後圏では入荷までの日数は同等です。

### ■施設

輸入植物検査場所（兼消毒場所）がコンテナヤード内および隣接地に確保されており、対象貨物の陸送費がその分かからないなど、経済性・利便性に配慮した施設配置となっています。

### ■コスト

物流コストは、苫小牧、小樽、石狩、京浜港等の利用と比較して、陸送コスト削減、ウィークリー単位入出荷での在庫コスト削減、船積確認や検品コスト削減など、函館港背後圏にとって利便性が高くなっています。

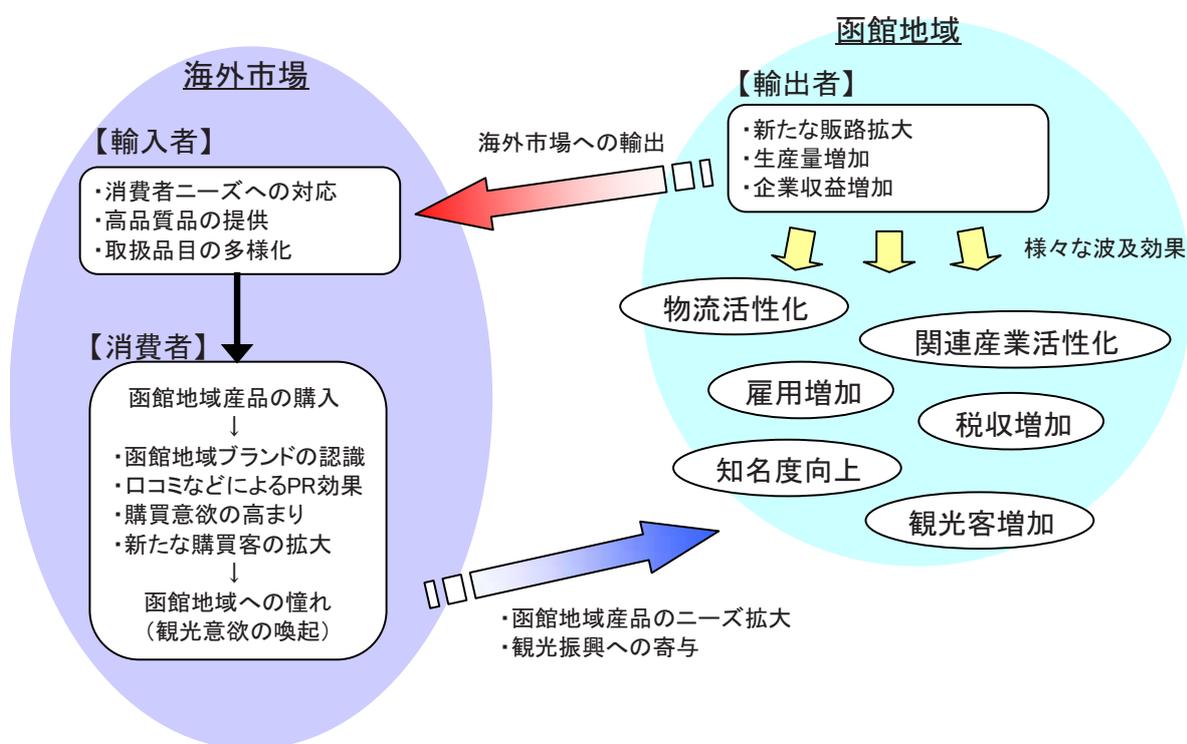
### ■助成制度

函館港利用促進協議会（事務局：函館市港湾空港部）では、函館港の定期外貿コンテナ航路利用の際、1寄港あたり、輸出または輸入において、その合計が5TEUを越えた場合、越えた分につき、荷主に対し、1TEUにつき5,000円、1荷主200,000円程度の助成制度をキャンペーンとして実施しています。予算の範囲内での助成となりますので、助成されない場合もあります。（期間：平成19年6月1日～平成20年3月31日 ※平成20年度も継続予定）

## 5. 貿易促進による地域活性化への波及効果

貿易（特に輸出）促進は、新たな販路拡大、生産量の増加、収益の増加といった単に一企業の利益にとどまらず、これにより原材料や資材の納入量が増加したり、輸送活動が活発化するなど関連する産業にも好影響を与え、また雇用が増加し、ひいては自治体の税収が増加するなど、地域全体の産業・経済の活性化に繋がります。

また、輸出により函館地域を海外にPRする広告塔としての効果や、函館地域の知名度の向上、海外観光客の増加など、さまざまな波及効果が期待されます。



貿易促進による地域活性化のイメージ（輸出の例）

## 【参考】関係機関連絡先

### ■お問合せ全般（貿易に関する総合的な問合せ）

株式会社函館国際貿易センター	函館市若松町 15-7-61 函館北洋ビル 6F TEL 0138-21-1100 FAX 0138-21-1113 URL <a href="http://www.hafexx.com/">http://www.hafexx.com/</a> 担当者 久留利 E-mail <a href="mailto:info@hafexx.com">info@hafexx.com</a>
----------------	--

### ■海上コンテナ貨物取扱業者（集荷・通関お問合せ）

共栄運輸株式会社	函館市海岸町 22-5 TEL 0138-42-4121 FAX 0138-42-4120 URL <a href="http://www.seikan-ferry.co.jp/kyouei.html">http://www.seikan-ferry.co.jp/kyouei.html</a> 担当者 山辺、沼下、田中、金崎 E-mail <a href="mailto:kyoeihkd@orion.ocn.ne.jp">kyoeihkd@orion.ocn.ne.jp</a>
函館海運株式会社	函館市末広町 21-15 TEL 0138-22-1237 FAX 0138-22-9013 担当者 森元、堀切 E-mail <a href="mailto:hkagncy@hotweb.or.jp">hkagncy@hotweb.or.jp</a>
日本通運株式会社 函館支店海運倉庫課	函館市万代町 18-12 TEL 0138-43-7772 FAX 0138-22-1037 URL <a href="http://www.nittsu.co.jp/">http://www.nittsu.co.jp/</a> 担当者 京極 E-mail <a href="mailto:na-kyougoku@nittsu.co.jp">na-kyougoku@nittsu.co.jp</a>
函館丸和港運株式会社 (CY オペレーション)	函館市万代町 17-3 TEL 0138-42-7007 FAX 0138-42-2391 URL <a href="http://www.seikan-ferry.co.jp/kyouei/kanren.html">http://www.seikan-ferry.co.jp/kyouei/kanren.html</a>

### ■コンテナ船運航会社

<運航船社> 南星海運株式会社	ソウル特別市中区長橋洞 1 番地 長橋ビル 17F TEL +82-2-772-8800 URL <a href="http://www.namsung.co.jp/">http://www.namsung.co.jp/</a>
<日本総代理店> 南星海運ジャパン株式会社	東京都中央区日本橋室町 2-5-13 TEL 03-5255-5673 URL <a href="http://www.nsl-japan.co.jp/index.html">http://www.nsl-japan.co.jp/index.html</a>
<函館港代理店> 共栄運輸株式会社	函館市海岸町 22-5 TEL 0138-42-4121 URL <a href="http://www.seikan-ferry.co.jp/kyouei.html">http://www.seikan-ferry.co.jp/kyouei.html</a>

■CIQ 関係官公庁

函館税関	函館市海岸町 24-4 (港湾合同庁舎内) TEL 0138-40-4218 URL <a href="http://www.customs.go.jp/hakodate/">http://www.customs.go.jp/hakodate/</a>
札幌入国管理局 函館港出張所	函館市海岸町 24-4 (港湾合同庁舎内) TEL 0138-41-6922 URL <a href="http://www.immi-moj.go.jp/">http://www.immi-moj.go.jp/</a>
小樽検疫所函館出張所	函館市海岸町 24-4 (港湾合同庁舎内) TEL 0138-41-8762 URL <a href="http://otaru.keneki.go.jp/">http://otaru.keneki.go.jp/</a>
横浜植物防疫所 札幌支所函館出張所	函館市海岸町 24-4 (港湾合同庁舎内) TEL 0138-42-6671 URL <a href="http://www.pps.go.jp/">http://www.pps.go.jp/</a>
市立函館保健所 生活衛生課 食品衛生担当	函館市五稜郭町 23-1 TEL 0138-31-1523 URL <a href="http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/hokensyo/">http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/hokensyo/</a>

■その他関係官公庁

函館市港湾空港部	函館市東雲町 4 番 13 号 TEL 0138-21-3484 URL <a href="http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/harbor/">http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/harbor/</a>
北海道開発局 函館開発建設部	函館市大川町 1 番 27 号 TEL 0138-42-7111 URL <a href="http://www.hk.hkd.mlit.go.jp/">http://www.hk.hkd.mlit.go.jp/</a>
北海道渡島支庁	函館市美原 4 丁目 6 番 16 号 TEL 0138-47-9400 (総合案内) URL <a href="http://www.oshima.pref.hokkaido.lg.jp/">http://www.oshima.pref.hokkaido.lg.jp/</a>